

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 健一 TEL 03-5772-4488
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,117	2.2	286	△5.1	259	△1.5	176	△0.6
2023年3月期第1四半期	7,940	5.1	301	△15.1	263	△25.7	177	△27.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 262百万円 (12.2%) 2023年3月期第1四半期 234百万円 (2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	55.99	-
2023年3月期第1四半期	56.30	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,998	4,279	34.6
2023年3月期	11,445	4,164	35.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,150百万円 2023年3月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	47.00	47.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.4	1,000	6.1	1,000	14.3	670	15.4	212.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1 Q	3,150,000株	2023年3月期	3,150,000株
2024年3月期1 Q	329株	2023年3月期	304株
2024年3月期1 Q	3,149,690株	2023年3月期1 Q	3,149,696株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、経済活動の正常化によって個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化等に伴う資源価格の高騰や原材料価格の上昇に加え、海外主要各国の金利上昇や景気減速の懸念などを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、インバウンドを含めて人流が回復する一方で、原材料価格の高騰等に対応した値上げの影響により、消費が低調に推移する傾向が見られ、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである乳及び乳製品や食品副原料の販売が堅調に推移したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,117,071千円（前期比2.2%増）となりました。一方、販売活動に伴う諸経費などが増加したことにより、営業利益は286,252千円（前期比5.1%減）となりました。また、為替差損を計上したことなどにより、経常利益は259,053千円（前期比1.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は176,350千円（前期比0.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

清涼飲料市場においては、新型コロナウイルスの5類感染症移行などを背景に人流が増加したものの、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴い、飲料メーカー各社が商品を値上げしたことで買い控えが進んだことに加えて、天候不順も影響したことから消費は減速し、依然として市場環境は厳しい状況が続く見通しであります。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである業務用殺菌乳や脱脂粉乳などの乳及び乳製品、糖類や香料などの食品副原料の売上高が前年同期に比べ増加したことから、卸売事業の売上高は8,079,277千円（前期比2.2%増）となりました。

<製造販売事業>

アイスクリーム市場においては、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、外食やレジャー施設における客数が回復し、業務用アイスクリームの需要は引き続き堅調に推移しておりますが、原材料価格の高騰や水道光熱費などの製造コストの上昇などにより、収益確保が難しい状況が続いております。

このような状況のもと、安心かつ安全な商品の提供を第一に、素材本来の味・香り・色をそのまま表現できるアイスクリームの開発に注力し、NB商品の販売強化ならびに取引先のニーズに合ったPB商品の提供に努めてまいりました。外食やレジャー施設向けの受注が増加したものの、小売向けカップアイスの受注が減少したことにより製造販売事業の売上高は206,587千円（前期比15.1%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ568,775千円増加し、10,547,809千円となりました。主な要因は、売掛金、商品および製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ15,041千円減少し、1,451,168千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ553,734千円増加の11,998,977千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ298,378千円増加し、6,096,601千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ140,643千円増加し、1,622,857千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ439,022千円増加し、7,719,458千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ114,712千円増加し、4,279,518千円となりました。主な要因は、利益剰余金、為替勘定調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,793,749	1,442,515
受取手形	80,330	111,053
売掛金	4,488,316	5,293,718
商品及び製品	2,163,607	2,364,584
未着商品	594,266	578,133
原材料及び貯蔵品	95,561	74,075
未収入金	197,209	120,071
その他	610,550	611,333
貸倒引当金	△44,558	△47,676
流動資産合計	9,979,033	10,547,809
固定資産		
有形固定資産	478,352	502,223
無形固定資産	3,318	2,975
投資その他の資産	984,539	945,969
固定資産合計	1,466,210	1,451,168
資産合計	11,445,243	11,998,977
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,521,216	4,800,562
1年内返済予定の長期借入金	776,530	822,303
未払金	159,156	174,072
未払法人税等	142,669	72,771
賞与引当金	37,754	27,600
その他	160,896	199,291
流動負債合計	5,798,222	6,096,601
固定負債		
長期借入金	1,361,212	1,502,885
資産除去債務	10,756	10,781
その他	110,245	109,190
固定負債合計	1,482,213	1,622,857
負債合計	7,280,436	7,719,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	3,145,022	3,173,336
自己株式	△259	△292
株主資本合計	3,800,625	3,828,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,066	185,217
繰延ヘッジ損益	△6,619	17,841
為替換算調整勘定	77,180	118,915
その他の包括利益累計額合計	251,626	321,973
非支配株主持分	112,554	128,638
純資産合計	4,164,806	4,279,518
負債純資産合計	11,445,243	11,998,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,940,511	8,117,071
売上原価	7,071,883	7,221,430
売上総利益	868,628	895,641
販売費及び一般管理費	566,834	609,388
営業利益	301,794	286,252
営業外収益		
受取配当金	2,873	3,287
受取手数料	1,054	1,581
受取補償金	—	3,634
補助金収入	881	—
その他	810	674
営業外収益合計	5,620	9,177
営業外費用		
支払利息	2,179	2,686
為替差損	42,016	33,179
その他	117	510
営業外費用合計	44,313	36,376
経常利益	263,101	259,053
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,120
特別利益合計	—	1,120
税金等調整前四半期純利益	263,101	260,173
法人税、住民税及び事業税	62,782	73,195
法人税等調整額	17,868	6,730
法人税等合計	80,651	79,926
四半期純利益	182,450	180,247
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,120	3,897
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,329	176,350

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	182,450	180,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△823	4,151
繰延ヘッジ損益	5,280	24,460
為替換算調整勘定	47,367	53,921
その他の包括利益合計	51,823	82,533
四半期包括利益	234,274	262,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,448	246,697
非支配株主に係る四半期包括利益	15,825	16,083

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,786,516	153,994	7,940,511	—	7,940,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122,202	89,331	211,533	△211,533	—
計	7,908,719	243,326	8,152,045	△211,533	7,940,511
セグメント利益	294,101	7,292	301,394	399	301,794

(注) 1. セグメント利益の調整額399千円は、セグメント間取引消去399千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,011,472	105,599	8,117,071	—	8,117,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,805	100,987	168,793	△168,793	—
計	8,079,277	206,587	8,285,865	△168,793	8,117,071
セグメント利益	279,423	2,629	282,053	4,199	286,252

(注) 1. セグメント利益の調整額4,199千円は、セグメント間取引消去4,199千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。